

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公表番号】特表 2020-506201 (P2020-506201A)
 【公表日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-008
 【出願番号】特願 2019-542542 (P2019-542542)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/351 (2006.01)
 A 6 1 P 31/04 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 K 9/06 (2006.01)
 A 6 1 K 47/34 (2017.01)
 A 6 1 K 9/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/351
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/04 1 7 1
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 K 9/06
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 K 9/107

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト又は動物対象における細菌感染症を処置又は予防するための方法において使用するための抗細菌組成物であって、当該組成物は、銅マルトール若しくは銅エチルマルトール含む銅ヒドロキシピロン錯体、及び少なくとも 20 % w / w のポリアルキレングリコール、を含み、ここにおいて、前記銅ヒドロキシピロン錯体及びポリアルキレングリコールは、酸化還元的分解から銅錯体を保護する会合体を形成する、前記抗細菌組成物。

【請求項 2】

該ポリアルキレングリコールが、ポリエチレングリコール (P E G) 又はポリプロピレングリコール (P P G) である、請求項 1 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 3】

該組成物が、少なくとも 30 % (w / w) のポリアルキレングリコール、あるいは、少なくとも 50 % (w / w) のポリアルキレングリコールを含む、請求項 1 または請求項 2 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 4】

(a) 該ポリアルキレングリコールが、1 種類以上のポリエチレングリコール類 (P E G) および / または 1 種類以上のポリプロピレングリコール類である、あるいは、

(b) 該ポリアルキレングリコールが、1 種類以上のポリエチレングリコール類と 1 種類以上のポリプロピレングリコール類との組み合わせ、を含む、

請求項 1 - 3 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 5】

ポリエチレングリコールが、P E G 4 0 0 又は P E G 3 3 5 0 である、請求項 4 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 6】

該組成物が、軟膏またはクリームである、請求項 1 - 5 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 7】

銅対マルトールの比率が、1 : 0 . 5 ~ 1 : 1 0 または 1 : 1 ~ 1 : 5 または 1 : 1 ~ 1 : 4 である、請求項 1 - 6 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 8】

該組成物が、シリケート組成物である、請求項 1 - 7 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 9】

該シリケート組成物が、ナノシリケートである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

該組成物がヒトの対象の処置における使用のためのものである、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

【請求項 11】

該組成物が獣医学的使用のためのものである、請求項 1 - 9 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 12】

該組成物がイヌ、ネコまたはウマの処置における使用のためのものである、請求項 11 に記載の抗細菌組成物。

【請求項 13】

該細菌感染症がグラム陰性またはグラム陽性細菌により引き起こされる、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 14】

該細菌感染症が M R S A 感染症である、請求項 13 に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

【請求項 15】

創傷の細菌感染症を処置又は予防するための方法において使用するための、請求項 1 - 14 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 16】

該細菌感染症が、エスケリキア属の種、スタフィロコッカス属の種、バシラス属の種、シュードモナス属の種、ビブリオ属の種、ストレプトコッカス属の種、クレブシエラ属の種、マイクロコッカス属の種、クロストリジウム属の種、アシネトバクター属の種、マイコバクテリウム属の種、サルモネラ属の種又はクラミジア属の種、により引き起こされる、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

【請求項 17】

該細菌感染症が、大腸菌、S . エピデルミス、S . アウレウス、メチシリン耐性スタフィロコッカス・アウレウス (“ M R S A ”)、B . サブチリス、P . エルジノーサ、V . フィシェリ、S . ピオゲネス、S . ニューモニエ、M . ルテウス、C . ディフィシル、A . バウマニ又は M . ツベルクローシスにより引き起こされる、請求項 16 に記載の抗細菌組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 0 】

本明細書において言及された全ての文献は、参照によりそのまま本明細書に援用される。

非限定的に、本発明は以下の態様を含む。

〔態様 1〕 ポリアルキレングリコールおよび銅ヒドロキシピロン錯体を含む抗細菌組成物。

〔態様 2〕 態様 1 に記載の抗細菌組成物であって、該銅ヒドロキシピロン化合物が、マルトールおよび / またはエチルマルトールを含む抗細菌組成物。

〔態様 3〕 該組成物が、少なくとも 10 % (w / w) のポリアルキレングリコール、場合により少なくとも 30 % (w / w) のポリアルキレングリコール、場合により少なくとも 50 % (w / w) のポリアルキレングリコールを含む、態様 1 または態様 2 に記載の抗細菌組成物。

〔態様 4〕 該 P E G 軟膏が、銅マルトールを含む、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 5〕 該銅マルトール - P E G 会合体が、銅マルトールを酸化還元的分解から保護する、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 6〕 該ポリアルキレングリコールが、1 種類以上のポリエチレングリコール類 (P E G) および / または 1 種類以上のポリプロピレングリコール類である、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 7〕 該ポリアルキレングリコールが、1 種類以上のポリエチレングリコール類と 1 種類以上のポリプロピレングリコール類との組み合わせ、例えば P E G 4 0 0 、 P E G 3 3 5 0 とポリプロピレングリコールとの組み合わせ、を含む、態様 6 に記載の抗細菌組成物。

〔態様 8〕 該組成物が、軟膏またはクリームである、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 9〕 銅対マルトールの比率が、1 : 0 . 5 ~ 1 : 1 0 または 1 : 1 ~ 1 : 5 または 1 : 1 ~ 1 : 4 である、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 1 0〕 該組成物が、シリケート組成物である、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 1 1〕 該シリケート組成物が、ナノシリケートである、態様 1 0 に記載の組成物。

〔態様 1 2〕 微生物感染症を処置する方法における使用のための、先行する態様のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物。

〔態様 1 3〕 該組成物がヒトの対象の処置における使用のためのものである、態様 1 2 に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 4〕 該組成物が非ヒト哺乳類の処置における使用のためのものである、態様 1 2 に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 5〕 該抗細菌組成物が局所投与される、態様 1 2 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 6〕 該組成物が獣医学的使用のためのものである、態様 1 4 に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 7〕 該組成物がイヌ、ネコまたはウマの処置における使用のためのものである、態様 1 4 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 8〕 該組成物が細菌感染症の処置のためのものである、態様 1 2 ~ 1 7 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 1 9〕 該細菌感染症がグラム陰性またはグラム陽性細菌により引き起こされる、態様 1 3 ~ 1 8 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 2 0〕 該細菌感染症が M R S A 感染症の処置である、態様 1 8 または 1 9 に記

載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 2 1〕 創傷の処置のための方法における使用のための、態様 1 2 ~ 2 0 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 2 2〕 該細菌感染症が、エスケリキア属の種、例えば大腸菌、スタフィロコッカス属の種、例えば *S. エピデルミス*、*S. アウレウス* およびメチシリン耐性スタフィロコッカス・アウレウス (“MRSA”)、バシラス属の種、例えば *B. サブチリス*、シュードモナス属の種、例えば *P. エルジノーサ*、ビブリオ属の種、例えば *V. フィシェリ*、ストレプトコッカス属の種、例えば *S. ピオゲネス* および *S. ニューモニエ*、クレブシエラ属の種、マイクロコッカス属の種、例えば *M. ルテウス*、クロストリジウム属の種、例えば *C. ディフィシル*、アシネトバクター属の種、例えば *A. バウマニ*、マイコバクテリウム属の種、例えば *M. ツベルクローシス* もしくはサルモネラ属の種、クラミジア属の種、または真菌種、例えばカンジダ属の種、例えば *C. アルビカン* スにより引き起こされる、態様 1 8 ~ 2 1 のいずれか 1 項に記載の処置の方法における使用のための抗細菌組成物。

〔態様 2 3〕 態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物、および薬学的に許容可能なキャリアを含む、医薬組成物。

〔態様 2 4〕 該組成物が、局所送達のために配合される、態様 2 3 に記載の医薬組成物。

〔態様 2 5〕 微生物感染の処置または予防のための医薬品の調製のための、態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物の使用。

〔態様 2 6〕 微生物感染症を処置または予防する方法であって、該方法が、処置を必要とする患者に療法上有効量の態様 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の抗細菌組成物を投与することを含む、前記方法。

〔態様 2 7〕 該組成物が、局所投与のために、より好ましくは対象の皮膚への適用のために配合されている、態様 1 2 ~ 2 2、2 5 または 2 6 のいずれか 1 項に記載の。処置の方法における使用のための組成物、使用または方法。